

報道部紹介

東北大学新聞の作成の流れ

東北大学新聞の作成の流れを紹介していきます。
まずは部員各自が新聞に載せるネタを考えてきて、部会で意見を出し合います。部会は毎週水曜日の5限終了後に開かれています。

部会でネタと担当者が決まった後、部員自ら取材先にアポイントメントを取ります。アポが取れたら、取材を行います。取材先へ赴いて取材するだけでなく、ビデオ会議などオンラインでの取材も行います。その後、取材した内容をもとに記事を執筆します。

記事を書き終えたら、部員同士で記事のミスや分かりにくい言い回しをチェックし赤入れします。場合によっては取材先の方々にも記事の校正を依頼することがあります。記事が集まればいよいよ編集です。割り付けのルールに従って記事を紙面に割り付けます。記事の見出しも部員が考えています。

編集を終えた紙面の印刷を印刷所に依頼します。その後、届いた新聞は学内のポストに置かれたり、購読希望者に送付されます。



課外活動施設紹介

課外活動で使用する施設を紹介します。



川内サークル部室棟

多くの団体の部室が入った4階建ての建物です。川内キャンパスには他にもいくつかサークル棟がありますが、ここが一番大きく新しいサークル棟で、学生たちの間では「新サークル棟(新サ棟)」の愛称で親しまれています。1階の広場では音楽系の部員が練習していることもしばしば。ちなみに報道部は3階の320号室に部室を構えているので、興味のある方はぜひ!

川内体育館・川内サブアリーナ

体育館、サブアリーナは各団体の課外活動に加え体育の授業でも利用される施設です。体育館にはトレーニングルームも併設されています。サブアリーナの1階にはBee ARENA Café というお洒落な食堂が入っており、他の食堂とは一味違う雰囲気です。



※使われている写真は奇術部、硬式野球部、報道部のものを除き、新型コロナウイルスの感染が広がる前に撮影したものです。早く皆で集まれる日が戻ることを願っています。

学友会に関する問い合わせ先

川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター東棟1階2番窓口 教育・学生支援部 学生支援課 活動支援係 TEL.022-795-3983

前代未聞の出来事の中でも、充実した大学生活を

経済学部2年 学友会報道部編集長 小松士恩

「汝、何のためにそこにありや」—大学進学という人生の岐路に立ち、新入生の皆さんは、この問いに即座に答えることができるでしょうか。これは、半世紀以上も前に私の母校に在任していた校長が新任式の際に引用した、あるハーバード大学教授の言葉です。大学進学から2年が経つ今、私もこの問いに改めて向き合う機会を得ました。

私は学友会報道部に所属し、昨年11月から『東北大学新聞』の編集長を務めています。報道部は、本学から公認されている学内最大の学生メディアで、学期中に月刊で発行している『東北大学新聞』通常号の製作が主な活動です。

大学に入学した頃、私は気ままに様々な団体の新歓イベントに参加して回り、友人の勧誘を受けて報道部に入部しました。当時のモチベーションは「学生新聞って学生っぽい」と考えていた程度で、新聞製作に携わった経験もありませんでした。編集長就任に際しても、次期編集長が決まる当日まで、自身が編集長になるとは考えていませんでした。大学入学後の2年間を経て、先の問いに立ち戻ると、一つ思うことがあります。進路とは、自分自身の意思で拓くものである一方、否応なく私たちを引きずり込むものでもあるのではないのでしょうか。

皆さんは大学入試を経て見事に進路を切り開きました。来る大学生活に期待や不安を膨らませ、次なる軌跡に思いを巡らせていることと思いますが、いくら考えを巡らせたところで、想像だにしない出来事や思いがけない出会いを避けることはできません。特に昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、全国の学生が、授業や課外活動がオンライン中心で行われ、前代未聞の大学生活を余儀なくされました。今年度も、見通しの立たない状況が続いています。

伺い知ることすらかなわない何かと向かい合うとき、唯一用意しておけるものは、先の問いへの答えだけではないでしょうか。皆さんの大学生活が実りあるものになることを切に願っています。



学友会報道部が全ページを編集しています!

学友会

本学全ての学生・教職員が会員となり、サークル活動、大学祭、新入生歓迎行事、教職員スポーツ大会などに対する支援を行っています。

この広報紙は皆さまの学友会費により作製されています。

学友会所属団体紹介

学友会に

文化部

学友会には、数多くの文化系団体があり、魅力的な活動を行っています。
ここでは奇術部、ブルーグラス同好会を紹介します。



奇術部

我々学友会奇術部はマジックとジャグリングの練習を主な活動としています!

年に二度ある発表会では実際に会場をとり、舞台上で演技を披露する機会もあります!他にも大学祭等で日々の練習の成果を披露することもできます!

普段の活動でも上級生がマジック、ジャグリングともに優しく教えてくれます!現部員も未経験者が多く在籍していますが皆日々の練習で上達しています。初心者の方でも大歓迎です!

ブルーグラス同好会

私たちブルーグラス同好会は、アメリカ発祥のブルーグラスというジャンルの音楽を演奏しています!ブルーグラスの曲は、カントリー調でアップテンポな曲からおしゃれな曲まで幅が広く、バンジョー、マンドリン、ドブロー、フィドル(バイオリン)、ギター、ウッドベースなど様々な楽器と歌で奏でられます。

私たちのサークルの特徴は活動の“自由さ”です!5~6人の小編隊のバンドを組んで、大学祭、ライブハウス、音楽イベントなど様々な場で演奏していますが、どのイベントも自由参加なので部員は自分でペースを決めて演奏を楽しんでいます!

部の雰囲気は先輩後輩、男女関係なくとても仲良く活動しています!また、音楽未経験者も大歓迎です!興味のある方は是非一度見学にお越しいただくか、TwitterのDMにご連絡ください!



所属する団体の活動やアピールを紹介しませう。

学友会には、数多くの体育系団体があり、日々、心と体の鍛錬を行っています。
ここでは硬式野球部、ゴルフ部を紹介します。

体育部

硬式野球部

私たち学友会硬式野球部は、仙台六大学リーグでAクラス入りすることを目標に日々活動しています。創部100周年のアニバーサリーイヤーとなる2020年、私たちは21年ぶりとなる悲願のAクラス入りを達成しました。

新型コロナウイルスが流行した今年、感染拡大防止のため一度は活動休止となりましたが、その後は少人数練習から始め、数多くの制限のなかで手の限りを尽くしました。21年ぶりという、部にとって非常に大きい歴史的瞬間に立ち会えた現部員たちは成長をやめることを知らず、新たな歴史を作るべく現在も日々精進しています。

学年を越えた仲の良さが魅力のこの仲間たちに囲まれ、硬式野球部の一員として、大学四年間という最後の青春を締めくくってみませんか。「常勝軍団」へと駆け上がる真っ只中の私たちは、新入生の力を加え、更なる飛躍を目指していきます。



ゴルフ部

私たち学友会ゴルフ部は週三回、大会で良いスコアを残すため日々の練習に取り組んでいます。大学から始めた人が多く、互いに教え合いながら楽しく技術向上を目指して活動しています。また月に一回の実際のコースでのプレー、春夏の合宿もあります。

自粛期間は個人練習という形態をとって、各々の技術向上に努めました。また、オンラインでの部会を行いチームとしてのこれからの方向性を共有することで、より一層結束力を高めることができました。

秋に行われた大会では、ブロック2位という成績を収めることができました。今年はブロックの昇降がなかったのですが来年は更に良いスコアを出して昇格できるよう、さらに七大戦でも上位をとれるよう練習により一層取り組んでいきたいと思っています。

